

2014年度 第2四半期決算説明会

2014年10月29日

富士通フロンテック株式会社

代表取締役社長 下島 文明

1. 2014年度 第2四半期決算概要

連結経営成績

[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2014年度 上期	488	4	6	3	14.32円
2013年度 上期	488	4	2	△4	△16.50円
前年同期比	±0	±0	+4	+7	+30.82円
4月公表値	471	4	2	1	4.18円
4月公表比	+17	±0	+4	+2	+10.14円

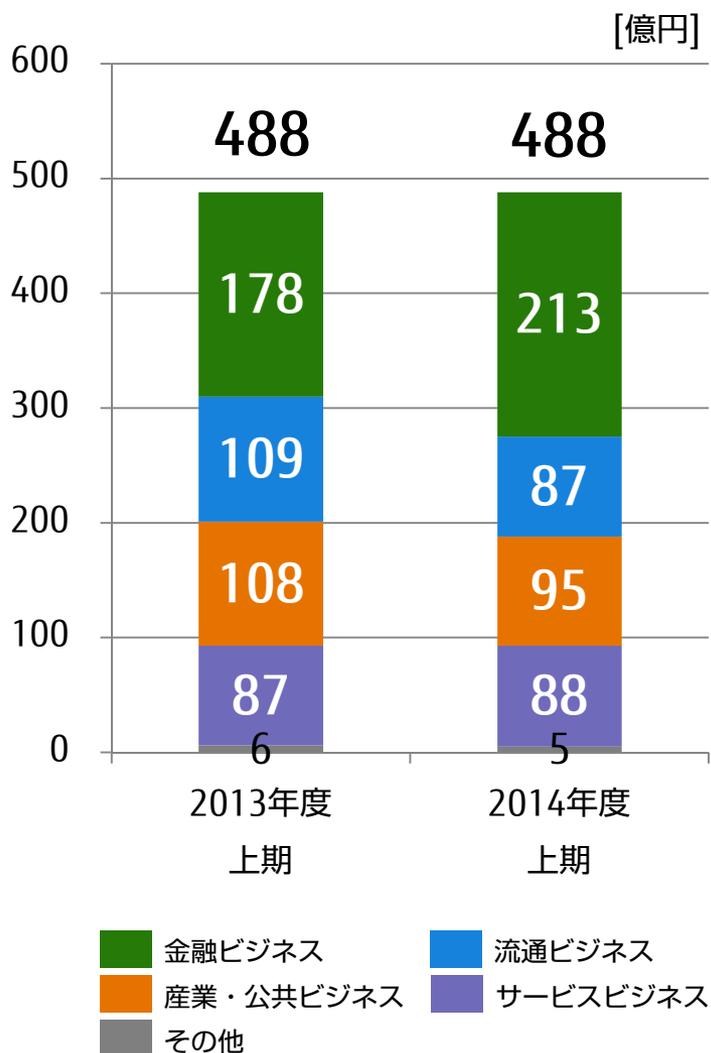
	期中平均為替レート (1USD=)
2014年度上期	103円
2013年度上期	99円

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

摘要	2013年度上期		2014年度上期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融ビジネス	178	9	213	7	+35	△2
流通ビジネス	109	△8	87	△5	△22	+3
産業・公共ビジネス	108	3	95	2	△13	△1
サービスビジネス	87	5	88	5	+1	±0
その他	6	0	5	0	△1	±0
全社費用	-	△5	-	△5	-	±0
計	488	4	488	4	±0	±0

セグメント別売上高



金融ビジネス 213億円 (前年同期比+35億円, +20%)

- 海外向けメカコンポーネントの増
- 手のひら静脈認証システムの増

流通ビジネス 87億円 (前年同期比△22億円, △20%)

- 前年度 国内店舗ソリューション事業移管による減
- 前年度 北米子会社SCOソフトウェア事業再編に伴う減
- 海外向けPOSの前年度 大口商談の反動減

産業・公共ビジネス95億円 (前年同期比△13億円, △12%)

- 表示システムの大口商談一巡による減
- スマートフォン検証ビジネスの減

サービスビジネス 88億円 (前年同期比+1億円, +1%)

- 店舗向けATMサービスの増
- 流通保守サービスの増

地域別売上高

- 国内は昨年の事業移管および大口需要の一巡などで減収
- 海外は還流式ユニットおよび出金機の需要拡大などで中国を中心に増収
昨年の北米子会社の一部事業移管により米州では減収

[億円]

摘要	2013年度上期	2014年度上期	前年同期比
国内	353	332	△21
(店舗ソリューション)	(10)	(0)	(△10)
海外	135	156	+21
()内は売上高比率	(27.6%)	(31.9%)	(+4.3%)
米州	54	49	△5
(SCOソフトウェア)	(4)	(0)	(△4)
欧州	35	42	+7
アジア	41	64	+23
[中国]	[24]	[47]	[+23]
その他	5	1	△4
計	488	488	±0

連結財政状態、キャッシュ・フロー

[億円]

摘要	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2014年度 上期	652	358	54.6%	1,483.57円
2013年度末	652	355	54.1%	1,473.37円
増減額	±0	+3	+0.5%	+10.20円

[億円]

摘要	営業C/F A	投資C/F B	刈-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 四半期末残高
2014年度 上期	39	△16	23	△7	17	80
2013年度 上期	39	△4	35	△23	13	34
増減額	±0	△12	△12	+16	+4	+46

2. 2014年度 通期計画概要

連結業績予想(前回から変更なし)

[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
2014年度計画	1,100	49	43	30	125.15円
2013年度	1,079	41	40	18	74.60円
増減額	+21	+8	+3	+12	+50.55円

	期中平均為替レート (1USD=)
2014年度想定	100円
2013年度	100円

セグメント別売上高

- 金融は海外ビジネスを中心にATM用メカコンポーネントが増加
- 流通は昨年、国内外で実施した事業移管により減収
- 産業・公共およびサービスは下期にリカバリー

[億円]

摘要	2013年度	2014年度	増減額
金融ビジネス	439	482	+43
流通ビジネス	215	184	△31
産業・公共ビジネス	236	236	±0
サービスビジネス	178	192	+14
その他	11	6	△5
計	1,079	1,100	+21

海外は中国および欧州において還流ユニットを中心に大きく伸長
米州では昨年の北米子会社の事業移管により減収

[億円]

摘要	2013年度	2014年度	増減額
国内	804	800	△4
海外	275	300	+25
()内は売上高比率	(25.4%)	(27.3%)	(+1.9%)
米州	106	96	△10
欧州	70	88	+18
アジア	89	114	+25
[中国]	[53]	[79]	[+26]
その他	10	2	△8
計	1,079	1,100	+21

各セグメントの事業内容(主な製品領域)

	金融ビジネス	流通ビジネス	産業・公共ビジネス	サービスビジネス
国内	 <p>営業店端末</p>	 <p>ハンディターミナル</p>	 <p>トータルイゼータ端末</p>	 <p>ATM、POSコールセンター</p>
国内 および 海外	 <p>ATM</p>	 <p>P16詳細 RFID</p>	 <p>表示装置</p>	 <p>店舗向けATMサービス</p>
海外	 <p>メカコンポーネント</p>	 <p>P15詳細 手のひら 静脈認証</p>	 <p>POS端末</p>	 <p>LCMサービス</p>
			 <p>フライトインフォメーション システム</p>	

P12参照

P13参照

P14詳細

P15詳細

P16詳細

2014年度における各セグメントの施策(1)

■ 金融ビジネス

〔セグメント売上高：2013年度実績 439億円、2014年度計画 482億円〕

<上期ビジネスの状況>

- 海外向けメカコンポーネントビジネスは中国・欧州を中心に好調持続
- 手のひら静脈認証は国内外の金融機関・官公庁向けを主に好調に推移

<下期の施策>

- 国内向けATMは堅調／営業店端末は商談活発化
- 海外向けATMは欧州中央銀行の認証を得てスペインを皮切りに本格展開

■ 流通ビジネス

〔セグメント売上高：2013年度実績 215億円、2014年度計画 184億円〕

<上期ビジネスの状況>

- 中国・アジア向け低価格POSおよびスマホ型モバイル新製品「Patio100」をリリース
- RFIDは海外リネンタグを中心に好調

<下期の施策>

- POSの新プラットフォーム／モバイル新製品の開発
- 損益改善への取組みの継続



Patio100

2014年度における各セグメントの施策(2)

■ 産業・公共ビジネス

〔セグメント売上高：2013年度実績 236億円、2014年度計画 236億円〕

<上期ビジネスの状況>

- 公営競技場向けのサービス拡大(新型キャッシュレス端末等)
- 環境配慮型スコアボード「エコボード」販売開始

<下期の施策>

- トータリゼータ次期機種の開発
- 大型表示システムの機能拡大による競争力強化(高精細品追加)
- 病院向け患者案内システム及びエコボードの積極拡販



環境配慮型スコアボード
(徳之島 天城町球場様)

■ サービスビジネス

〔セグメント売上高：2013年度実績 178億円、2014年度計画 192億円〕

<上期ビジネスの状況>

- 店舗向けATMサービスを中心に堅調に推移
- 流通業向けコールセンターが、HDI-Japan認定の「クオリティ格付け」で最高評価の「三つ星」を獲得(2回連続)

<下期の施策>

- LCMサービスの専任組織により金融・流通向けビジネスを拡大

(トピックス)グローバル金融ビジネスの状況

■ 2014年度上期実績

上期実績	前年同期比
107億円	+33億円 (+45%)

中国、欧州のメカコンポーネント需要拡大により、金融ビジネスにおける海外売上比率 52%を達成

■ ビジネス状況

(1) メカコンポーネントビジネス

- ① 欧州、中国向けのATM用途を中心に還流機の需要が旺盛
 - ・ 欧州では特に東欧が好調
 - ・ 中国では、偽札対策(記番号読取義務化)も契機となりさらなる需要増へ
- ② 今後拡大が期待されるATM以外の用途も積極的に開拓
例) 窓口現金機(TCR)、セルフレジ、券売機、納金機、カジノ用精算機

(2) 装置ビジネス

- ① メカコンポーネントの強みを活かして装置ビジネスの展開を開始
 - ・ ATM：欧州で販売開始、商談は活発
 - ・ 窓口現金機等他の装置も検討中
- ② 将来は、ソリューションの展開も視野に検討中

■ 今年年間見通し

14年度見込	前年比
204億円	+40億円 (+24%)



小型紙幣出金ユニット (F53)



大型紙幣還流ユニット (G750)



ATM Series 100

(トピックス)手のひら静脈認証ビジネスの状況

■ 市況

- ・セキュリティ意識の高まりとともに生体認証市場は活況
- ・特に静脈認証は2017年度にかけて年率32%の伸び(TechSci Research社調べ)
 - 国内：金融機関・官公庁向け
 - 海外：ブラジル、トルコ、中国等の新興国

■ ビジネス状況

- ・2014年度出荷計画：15万台(前年度比2倍)
 - 国内外の金融機関・官公庁向けなど大規模商談を推進
 - 認証精度の向上、超薄型／小型センサーによりタブレット搭載を実現

【導入事例1】 センサー内蔵タブレット
ふくおかフィナンシャルグループ様で
2,000台導入。
渉外活動用端末として、営業スタイル
変革を実現



【導入事例2】 自治体 情報漏えい防止
草加市役所様にて、全PCのログインに
採用。
職員約1,300名が
利用し、市民情報
を守る



(トピックス)RFIDビジネスの状況

■ 市況

- ・ RFIDタグの低価格化とともに、市場が本格化
- ・ 業務の効率化やトレーサビリティの強化を目的に導入が加速

■ ビジネス状況

- ・ 2014年度出荷計画：5,000万枚超(前年度比約2倍)
 - 国内では医療向けおよびアパレル向けタグの導入が進行
 - 海外では繰り返し洗濯可能なリネンタグが大きく伸長
- ・ RFIDソリューション基盤の商品化を行い、下期より販売開始



【導入事例1】 採血管用ラベルタグ

従来のバーコードに比べ読み取り高速化

100本を4秒で読み取り
(バーコードでは5分)



全国の20病院で稼働中

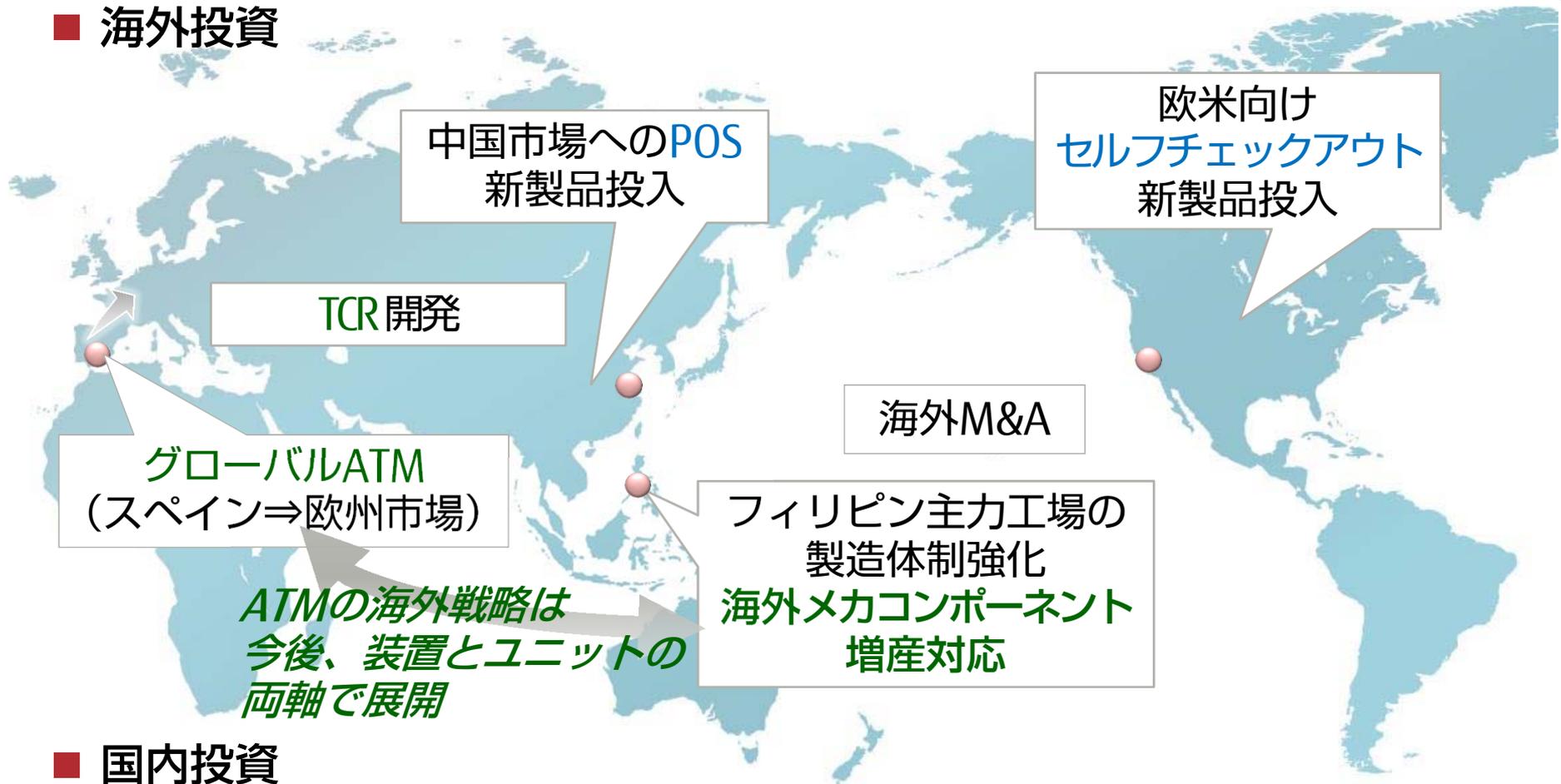
【導入事例2】 医療用リネン品管理

洗濯/滅菌実施確認の自動化を実現



一括読み取り
コンベア

■ 海外投資



■ 国内投資

- トータリゼータ次期機種の開発
- 現金管理ソリューションサービスの市場投入
- RFIDソリューション基盤の商品化
- 東京オリンピック関連事業へのアプローチ

事業の戦略的推進と事業効率化の徹底継続をベースに
B to B to Front (お客様の最前線)で新たなビジネスを
創出していくことで、

<2014年度計画>

連結売上高 **1,100億円**

連結営業利益 **49億円**

を目指してまいります。

<見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性(経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります)を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

<商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



FUJITSU

shaping tomorrow with you